

# 地域と協同の 研究センターNEWS

2021年8月25日発行

204号

## 農業・JAを取り巻く今日的課題

伊藤辰也（愛知県農業協同組合中央会 総務企画部長）

お盆と言えば、強い日差しとセミの鳴き声が定番だが、今年は様子が違った。お盆初日の集中豪雨で近所を流れる川が危険水域を超え、夜通し防災無線が辺りに響く中、貴重品を2階に運び上げたり、大わらわに……。幸いにも避難するまでには至らなかったが、各地では河川の氾濫などの被害が出ており、報道でよく聞く「何十年に一度の……」は既に日常になったのではないかと感じた。農業は天候しだいだが、近年の異常気象の影響で、農産物の被害が頻発しており、今回の豪雨でも少なからず被害が出ているようである。

東京オリンピックでは日本勢の史上最多のメダル獲得で大いにわいたが、新型コロナウイルスの感染は政府の意に反して拡大し、期待されたオリンピックの効果もなく、経済活動の停滞や国民の負担・ストレスが問題となっている。また、同時に経済や生活はアフターコロナに向けて不可逆的に変化するとされている。

今回は、寄稿の機会をいただいたので、新型コロナウイルス感染拡大をはじめ農業・JAを取り巻く情勢の変化と課題について書いてみたい。

### 【農業を持続可能な産業とするために】

農業を取り巻く情勢は従来に増して厳しくなっている。

農家の高齢化という構造的な問題を抱える中、異常気象や家畜伝染病（鳥インフルエンザや豚熱など）による農産物被害の頻発で農業の継続への意欲が減退しているところに、新型コロナによる業務用需要の落込みなどが追い打ちをかけた。かねてから後継者や新規就農者が不足する中、現役の高齢農家の廃業が進むのでは、と懸念される。

農業政策では、農林水産省は「農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略」を策定し、輸出額を5兆円とする目標を立てて、農業所得の向上に向けて、取組みを進めている。

日本に食料を輸出する国は自国内での需要を超える分を輸出に回しており、食料の多くを輸入に頼っている日本では輸出に回すよりも国内の需要を賄う方が先ではないのかと思う。政策をすぐに転換できないなら輸出額の目標達成ではなく、輸出業者だけでなく農家の手取り収入も増加するよう国を挙げての対応を望みたい。

さらに、農林水産省は令和3年5月に策定した「みどりの食料システム戦略」の中で、国際協調のもと地球温暖化などの環境問題解決のため、カーボンニュートラルに向け、化学農薬・肥料の使用低減、生産全体の25%までの有機栽培の増加などの目標を掲げた。

【2頁につづく】

### 研究センター8月の活動

|                                |                          |
|--------------------------------|--------------------------|
| 7日（土）共同購入事業マイスターコース②           | 26日（木）協同の未来塾③            |
| 18日（水）協同組合役職員学習会「協同組合間協同を考える」  | 28日（土）愛知県立大学地域連携センター公開講座 |
| 21日（土）三河地域懇談会世話人会<br>友愛・協同セミナー |                          |

※ 各行事は新型コロナウイルス感染対策をとって実施しています。

|    |                           |   |                             |   |
|----|---------------------------|---|-----------------------------|---|
| 目次 | 農業・JAを取り巻く今日的課題 伊藤辰也      | 1 | 第5期奨励研究助成 研究報告会             | 5 |
|    | 「三河地域懇談会」豊橋生協会館へ寄らまいかん    | 3 | 高齢化した人口減少社会における移動販売（店舗）の可能性 |   |
|    | オンライン ミニ企画 第3弾 開催しました     |   | 情報クリップ                      | 6 |
|    | 「木の駅プロジェクト訪問」恵那市中野方の地域づくり | 4 | 書籍紹介「生協共済の未来へのチャレンジ」        | 8 |

## &lt;巻頭言：1頁よりつづく&gt;

農業の現場では、面積当りの収穫量をアップし、生産性向上のため、機械導入、肥料農薬の投入など様々な省力化等技術を取り入れ、現在に至っている。「みどりの食料システム戦略」はこれらを削減していこうとするものであり、従来よりも生産コストが増加する可能性がある。手間暇をかけた日本の農産物の安全安心や品質は世界に誇れるレベルと思うが、例えば有機栽培に転換した場合にかかる手間やコスト（多くは人件費）は、果たして販売価格に適正に上乗せすることができるのだろうか。欧州のように自国の農産物や有機農産物への手厚い政策的な配慮がなければ、転換しても手数が増えるだけで農業所得のアップにはつながらない。

今回の新型コロナウイルス感染が国民に認知され始めた当初、マスクが手に入りにくい状況が続いた。輸入先の国々が自国民へのマスク供給を優先して、日本への輸出が滞ったとの報道もあったと記憶している。これが、食料だったらと想像していただきたい。世界では人口が増加し続けているが、世界的な気候変動の中、食料生産力は減少している。自国の食料不足に直面したとき、輸出を優先する国がどれくらいあるだろうか。

日本の食料自給率はカロリーベースで平成30年度に37%と先進国中で最も低い国の1つである。政府は令和12年度に自給率を45%にするとしている。農業は天候に左右され、年1回の収穫がゼロになるリスクがあり、近年の異常気象でそのリスクは高まっている。前述の政策を進めるならば、事業として農業を継続する意欲が持てるよう、最低でも生産コストが回収でき利益が出る販売価格で売れるようにするとともに、国民が国産農産物を優先して消費するような政策的な対応も必要ではないか。JAグループも、現場レベルで農業所得をアップできるように、生産性向上のためのデジタル化等新しい技術の普及やEコマースはじめ様々な販売手法を取り入れ、農家の収入アップや新規就農者の支援など農業振興に貢献し続けられるよう継続的な対応を図っていく。

## 【消費者（生活者）であるJAの准組合員】

JAには、農家である正組合員以外に、JA管内に居住し、JA事業の利用、組織活動への参加などを希望する人が組合員になれる准組合員制度がある。JAが「農業を営む農家で構成する職能組合」とであると同時に、「生産者である農家や消費者である地域住民を含めた地域の組合」とであるという二面性を持つ所以である。政府の規制改革推進会議は、准組合員の利用が農家正組合員の利用を妨げているとの意見を繰り返してきたが、最終的に民間組織であるJAの運営は組合員の判断であるとされ、准組合員の意向を踏まえて運営するという結論に至った。准組合員はJAの事業に魅力を感じて加入した方で、活動や意思反映への考え方も多種多様である。JAグループでは、「准組合員は地域の農業応援団」と位置づけ、様々な事業・活動において、意見収集・意思反映の機会を設けてきた。准組合員の農業への関心は、産直で新鮮な農産物を購入したい、農家を援農ボランティアとして助けたい、自分自身が農業をやってみたいなど様々であり、今後はその意向に沿ったきめ細かい対応が重要と考える。

新型コロナウイルス感染拡大は、協同組合らしさの源泉ともいえる対話やコミュニケーションが円滑にできない状態を招いた。組合員への訪問、組合員同士の会合などは感染防止のために控えざるを得ず、事業推進だけでなく、組織活動も停滞している状況である。また、かつての農村は宅地開発により、新しい住民との混住が進み、地域内のつながりの希薄化も問題である。

今後は、非対面のコミュニケーション、若年層の参加しやすさ、農家組合員と准組合員との生消の交流・連携、今回の豪雨等災害時に機能する地域コミュニティ等々、農業応援や地域の困りごと解決に向け、協同活動を新たな形で展開できるような仕組みの構築が課題と考えている。

## 【おわりに】

令和3年度、JAグループは10月に全国大会、11月に愛知県大会を開催する。「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として持続可能な農業基盤の確立や地域インフラの一端を担うことを目指して、この機会に、多くの方が農業の価値やJAの取組みを理解し、参加・参画いただけるよう様々な情報発信を行う予定である。農業・JAの未来を見据えて、農家の所得向上や地域の困りごとを解決するための新たなきっかけづくりの年としたい。

（いとう たつや）

## 「三河地域懇談会」 豊橋生協会館へ寄らまいかん オンライン ミニ企画 第3弾 開催しました

ブラッシング指導もあり、みんな熱心に受講しました。お口のケアは大事です！ 報告：伊藤小友美（事務局）

私たちは、三河地域に暮らしていたり、仕事をしていたり、ご縁のある研究センター会員で構成する会です。くらしや地域のことを交流・懇談することを大切に、さまざまな学びの場を世話人会で相談し、開催しています。今年度も「豊橋生協会館へ寄らまいかんオンラインミニ企画」をいくつか開催する予定です。ニュースでは7月1日に開催した学習会の内容を紹介します。今回の企画は、「食と健康」「災害に備える」の両方に焦点を当てたもので、くらしにすぐ生かせる講座でした。災害時に備えて、非常持出袋に歯ブラシと洗口液を入れておくことが有効なことも学びました。

**テーマ：「全身の健康は歯の健康から」**（詳しい資料さしあげます。ご連絡ください。）

日時：7月1日（木）14時～15時半 オンライン発信会場：豊橋生協会館

講師：木下祥真さん（サンスター(株)） 江川 望 さん（同 歯科衛生士）

参加者：オンライン参加 4名 会場参加 15名

※講師のお二人には大阪からオンラインでお話しいただきました。

### 「人生100年時代 ～「お口の健康は身体の健康に繋がる～」と題した江川さんのお話

乳歯は20本、大人の歯は28本（親知らずを含めると32本）です。同じ年齢でも、28本すべて残っている方と8本しかない方では大きな差があります。食べられるもの、食べられないものの制限があるのです。口の機能は、「食べる」「飲み込む」「話す」「唾液を出す」等様々なものがあります。平均寿命は伸び続けていて「人生100年時代」と言われますが、平均寿命と健康寿命の差は男性で9年、女性で12年です。健康寿命を伸ばすことが必要です。

下記の項目でオーラルフレイル（口腔虚弱）のチェックを「はい」「いいえ」でしてみましょう。

①半年前と比べて、かたいものが食べにくくなった。②お茶や汁物でもむせることがある。③義歯を使用している。④口の渇きが気になる。⑤半年前と比べて外出の頻度が少なくなった。⑥さきいか・たくあんくらいの硬さのものが食べられる。⑦1日2回以上は歯を磨く。⑧1年に1回以上は歯科医院を受診している。

オーラルフレイルは、日常些細な状態から始まるので見落とされがちです。「パタカラ体操」というものもあります。唇・舌・喉を鍛える体操です。10秒間「パパパパパ…」と言ってみましょう。何回言えますか。iPhone 用の「お口元気チェックアプリ」もあります。ご活用ください。



唾液腺は、耳下腺・顎下腺・舌下腺の3つがあります。唾液を出すためにマッサージをしましょう。食事の前に出やすかったところを刺激するとよいと思います。

歯を失わないように 喪失予防をしましょう。むし歯と歯周病が2大疾患です。なぜむし歯になるのでしょうか。一つめは細菌、磨き残しです。二つめは歯の質、弱い人はむし歯になりやすいので、フッ素塗布がおすすめです。三つめは食べ物です。間食、ダラダラ食べは問題です。「すぐに歯磨きするのがいいのですか。それとも時間をあけた方がいいのですか。」とよく聞かれます。食事をするとお口の中は酸性に傾きます。歯ブラシ程度なら、削れる心配はないので、時間をあけた結果忘れて寝てしまう方が大問題です。食事をした後、歯磨きをすぐにしても大丈夫です。

歯の磨き方、歯の質強化、食べ方の3つが大事です。大人むし歯（根元むし歯・再発むし歯）にも注意が必要です。もともと詰め物があるところは一度むし歯になったところ。歯ぐきが下がると、詰め物との間に溝ができ汚れがのこってむし歯になることが多いので、根っこの部分に気をつけて歯を磨いてください。歯ブラシは「ふつう」か「やわらかめ」を使用しましょう。

歯肉炎と歯周炎を合わせて歯周病と言います。歯肉炎は歯ぐきが少し腫れる状態ですが、歯を支えている骨にまで影響が出ます。40代後半から急激に増加します。見た目だけでは発見できず、レントゲンを撮ってはじめて分かる骨の破壊もあります。年に1回は歯医者さんへ行きましょう。歯ぐきにも血管があり、口腔内の細菌が血管を通して前身に巡ります。動脈硬化、心疾患、低体重児出産骨粗鬆症、誤嚥性肺炎、糖尿病等に影響があります。全身疾患と大いにかかわっています。

## 地域と協同の研究センター 岐阜地域懇談会世話人会

### 「木の駅プロジェクト訪問」恵那市中野方の地域づくり

岐阜地域懇談会は2021年7月1日、棚田について学んできました。2020年9月に、恵那市中野方（なかのほう）「坂折（さかおれ）棚田」を訪問した際、「棚田保存」だけではない、多方面にわたる「中野方地域を住みよくしようとする活動」について知ることができました。「棚田」を大切にすることは、ただ単に「棚田の保存」ということではなく、棚田のある地域のくらしを守り、次世代につなぐということだという気づきがありました。「棚田」を、「地域のくらし、残していきたい文化の象徴」ととらえると、棚田以外の中野方の活動についてもっと知りたいという話し合いがすすみ、7月1日中野方を訪問しました。「木の駅プロジェクト」について、代表の鈴木さんから、また中野方まちづくりについて、中野方地域協議会事務局の遠山さんからお話を伺いました。

#### （１）中野方のまちづくりについて

地域協議会事務局 遠山 吏加 氏（とおやま りか）

中野方町は、恵那市の最北部にあり、人口は1491人、高齢化率は42.32%（令和3年6月1日現在）2011年4月は1762人、人口は、10年間で、毎年約300人減少しました。

「里山の恵みを活かし、みんなが安心して暮らせるまち」を繋いでいくために、中野方地域計画（令和3年度～令和7年度）を基にして活力ある中野方町になるように取り組んでいます。中野方地域計画で取り組む活動には、住民自らが立ち上げた組織が力を発揮しています。例えば、学童保育は働くお母さんを支えるNPO法人まめに暮らそまい会が。計画は3つの柱からできています。「1、里山の恵みを活かす（＊山林・原野を元気にする＊自然を守り、親しむ ＊棚田の里、栗の里、緑うるおうやすらぎの里を目指す） 2、みんながいきいきする（＊移住・定住の促進をする＊産業の開発と充実＊ふるさとを学び、伝承する） 3、安心して暮らせるまちにする（＊福祉の拠点の活用＊自分たちのまちは自分たちで守る＊地域のネットワークづくり）」今年4月に、「中野方まちづくり連絡会」が出来上がりました。地域の課題解決のため、団体間の連携をめざします。

#### （２）「笠周木の駅プロジェクト」について

恵那市の北部 笠置町、中野方町、飯地町は笠周地域と呼ばれています

すべては、子のため、孫のため、今夜の晩酌(笑)のために、「軽トラとチェーンソーで晩酌を！」を合言葉に今日も間伐をやろまい・・・

笠周（りっしゅう）木の駅実行委員会 鈴木 今衛 氏（すずむら いまゑ）

きっかけは、2000年恵南（けいなん）豪雨。放置してあった山の木のせいで被害は甚大なものになりました。このままではいけないと考え出された活動が「木の駅プロジェクト」です。農家が野菜を「道の駅」で販売するように、間伐材も気軽に売ればとの思いを込めて「木の駅」と名付けられました。山の中に放りっぱなしになっている木を搬出して「木の駅」に持ってくると、志援金（志を応援するのでこの字を使います）を加えて1トン6000円で買い上げます。それを現金でなく地域通貨券（モリ券）で支払うことで、森林整備と商店振興と地域活性化につなげていこうとする取り組みです。木の駅は持続的な間伐を目指し参加者の負担を極力軽減しています。受け入れる丸太の長さは軽トラックに乗せやすい60～210センチと幅を持たせ、重い生木のままの検量も認めています。鈴木さんが代表を務める「杣（そま）組」は切り出した木材の引き取りを条件に間伐を無償で請け負います。「山を元気に、地域を元気にしたい！」「地域の未来は自分たちで決める」そんな願いから始まった活動です。間伐が行き届いた山は、大きく育った木が地中深く根を張り、土砂災害や洪水被害を防ぎます。個人の山という意識を捨てて、みんなを守る緑のダムにしないでほしい。めざすのは、100年前の山の姿です。災害に強い、安心して暮らせるまち（柱の3）山林を元気にする（柱の1）を目指した活動です。

#### 【感想】

まちづくりの組織図を見て、びっくりしました。一人何役もされている。女性の声も活かされているようです。人口1500人、40%以上の高齢化率のまちでこのような活動ができているのがすごいことです。

「木の駅プロジェクト」先行投資があるのかと思っていたら、建物が無くてもできる活動でした。

何をするにしても、人とのつながりが大切だと思う。また自分が楽しくないと「エライ、エライ・・・」では続かない。

地域経済振興のための「モリ券」などの活動の意味合いがわかりました。

個人の利益、地域の利益どう折り合いをつけておられるのかの一つの答えが「孫のため（住み続けられる地域づくり）」という言葉でした。

報告：岐阜地域懇談会世話人・井貝順子（いかい じゅんこ）

## 第 5 期奨励研究助成 研究報告会

## 高齢化した人口減少社会における移動販売(店舗)の可能性

報告 熊崎 辰広(くまざき たつひろ)

7 月 9 日(金)に第 5 期研究奨励助成での研究報告会をオンライン併用で行いました。

## 【報告の概要】

今回の内容は、京都のくらしと協同の研究所の公募研究会(買物支援研究会)での研究を引き継いでまとめました。移動販売車を追尾して調査したところは、生協では京都生協、福井県民生協、ならコープ、コープこうべ、コープあいちです。加えて京都丹波地方のスーパー「いとどめ」、今回新しく鳥取県の「あいきょう」、JAひだを調査しました。まず生協の移動販売(店舗)の、各生協の事業の継続性という視点から経営数値も見ながら、主に 1 日当たりの供給高と一人当たりの利用金額を比較しながら分析しています(2019 年まで)。調査した生協では、まだ黒字経営になっている生協はなく、事業の位置づけも課題です(現状、コープさっぽろと青森県民生協が黒字)。



どの生協でも、地域とのつながりを重視し、自治会や街づくり協議会などの地域との連携が進められています。特徴的なのが、コープこうべの「小野方式」で、ここの移動販売の現場は、必ず数人の民生委員さんがお手伝いをし、買物による地域の見守りもしているという例です。

また、「とくし丸」の事業を生み出した、鳥取県の「あいきょう」の実践や、岐阜飛騨市での移動販売の事業についても調査しています。その「あいきょう」のリーダーである安達さんは、元鳥取西部勤労者消費生協の職員であり、倒産した生協の 1 店舗と、農協の店舗も引き受けて、さらに移動販売を持続的に発展させてきた思想を学びました。さらにその安達さんに学んだ、現在全国展開している「とくし丸」の移動販売についても分析しました。また飛騨市で移動販売を実施している JA ひだや、神岡町の「まごころけいちゃん号」の移動販売の取り組みについても分析しています。地域に密着し、地域の状況を踏まえた事業の特徴についても、生協の移動販売を考える、いいヒントになる可能性があります。

## 【感想・意見】

当日の質問のなかで、「生協ではなぜ移動販売車が増えないか」という質問がありました。答えは簡単で、多くの生協移動販売が赤字経営になっている、ということだと思われます。「とくし丸」は個人事業主でもあり、黒字にならないと持続できません。Zoom 参加を併用した企画でもあり、今回は「コープかごしま」と生協総研からの参加がありました。参加者の意見を一部紹介します。

- 生協の取り組み進捗が同じ項目でまとめられており、大変参考になりました。また「あいきょう」様や「とくし丸」様の取り組み等、とても学ぶ点が多い機会となりました。地域、行政との協力連携の大切さや、事前アンケートでの生の声を聴き、活かすことなど、まだまだコープかごしまとしてもできていない取り組みが多く、今後の課題も見えてきました。なぜ、コープさっぽろは収支を確保できるのか、とくし丸はなぜ伸びるのか、全く同じ疑問をもっていたので、分析を教えてくださいました。
- 移動店舗の歴史や経過を知るができ良かったです。地域とつながる中で、西尾市(福祉課、長寿課)や包括、老人会、町内会、地域の総代さんから高齢者の買物の困りごと相談を受けるのですが、ここ最近「移動店舗をお願いませんか？」と問われます。「とくし丸」が地域の声を聞き取れていることを知り、儲け主義ではないことを知り納得しました。

## 【報告を終えて】

感想については概ね賛同を得る内容でした。「まだ消化不良である、方向性がみえない」という批評もあり、まだまだ課題は残っているようです。利用者の声も聞きたいという意見もありました。機会があれば、今度は興味のある方でグループ調査ができればと思います。



# 情報クリップ



co-opnavi 2021.8 No.831

## 「買い物支援」で地域のくらしに貢献

日本生活協同組合連合会 2021 年 8 月 A4判 36 頁 367 円（税込み）

### ＜コープ商品のある風景＞

CO・OPわいおいスティックゼリー

富山県生協 組合員理事 今井香織さん

特集

### 「買い物支援」で地域のくらしに貢献

#### ＜今日も笑顔のコープさん 生協の仲間のお仕事拝見＞

とちぎコープ 塩田光希さん

#### ＜想いをかたちにコープ商品＞

CO・OP果実をぎゅっと甘夏ミックス

#### ＜生協大好きママコブ山さんの 教えて！CO・OP商品＞

CO・OPフローズンヨーグルト

#### ＜コープ商品 虫の目チェック！＞

パッケージを開封するときの「ちょっと不便」を改善！

#### ＜ZOOM IN 生協の店舗づくり＞

コープしが コープながはま店

### ＜日本全国宅配現場におじゃまします！＞

東都生協

### ＜With コロナ時代の組合員活動＞

大阪いずみ市民生協

### SDGs REPORT

ユーコープ

### ＜みんなで学ぼう！生協 10 の基本ケア＞

大切なのは自分の力で「座る」こと

### ＜この人に聴きたい＞

B.LEAGUE チェアマン（代表理事 CEO）

島田慎二さん

### ＜ほっと navi＞

コープこうべ / 鳥取県生協

月刊 J A 2021.8 vol.798

## 第 29 回 J A 全国大会に向けて⑤

全国農業協同組合中央会 2021 年 8 月 A4判 48 頁 年間予約 5,204 円（税込み）

特集

### 第 29 回 J A 全国大会に向けて ⑤

ー第 29 回 J A 全国大会組織協議議案について

持続可能な農業・地域共生の未来づくり

ー不断の自己改革によるさらなる進化

J A 全中 JA 改革推進部 経営基盤・県域 JA 支援課

### スゴイ農業、スゴイ J A

### J A 自己改革の現場から

組合員との関係強化を目指した

組織基盤強化プロジェクトチーム

ー J A さいたま（埼玉県）の取り組み 小林 元

### きずな春秋 ―協同のこころ―

童門冬二

### 展望 J A の進むべき道

経営基盤強化にあたっての基本的考え方

山田秀顕（J A 全中常務理事）

### 協同組合の理解促進に向けて

第 5 回 「協同を学ぶ」ためのインターンシップ

ー「協同組合」の今日的価値

志波早苗

### 私のオピニオン

江口文陽

### J A 全中マンスリーレポート 7 月

### 協同組合と SDGs 第 27 回

「生協の 2030 環境・サステナビリティ政策」で

SDGs の取り組みを推進

新良貴泰夫

### 協同組合の広場

（日本生協連、J F 全漁連、全森連、ワーカーズコープ）

「食」と「農」と「くらし」に関わる

社会課題を解決するイノベーションを

ー J A グループイノベーションラボ

AgVenture Lab のご紹介

一般社団法人 AgVenture Lab

### 海外だより [D.C.通信] 連載 122

アメリカ西部で深刻化する干ばつ

伊澤 岳

### 第 34 回 広報活動優良 J A 紹介

組合員向け広報誌の部 優秀賞

J A 会津よつば（福島県）

トピック① コロナ禍の農業・農村

第 4 次食育推進基本計画と

今後の J A 食農教育への期待

上岡美保

### トピック②

「香り湯プロジェクト」が

都市と地方の意識を変える

J A 全中 広報部 広報課

## 生活協同組合研究 2021.8 VOL. 547

## ベーシックインカム (BI) —究極の貧困対策か異か

公益財団法人 生協総合研究所 2021 年 8 月 B5 判 64 頁 定価 550 円 (税込み)

## ■巻頭言

コロナがあぶり出した令和の格差社会 岩田三代

## 特集 ベーシックインカム (BI)

—究極の貧困対策か異か

ベーシックインカムは幻想か?

—財源論、批判の論点—

佐藤一光

ポスト新自由主義の政策パラダイム

—ベーシックインカムを超えて— 本田浩邦

解放主義社会と AI、ベーシックインカム論

小野盛司

BI は AI 時代の救世主なのか

—対抗運動と公共サービスの再建を— 竹信三恵子

ベーシックインカム:

危機に瀕している世界への変革的アイデア

サラット・ダヴァラ

(翻訳) 則包佳啓、監訳・解題: 山森 亮

コラム ベーシックインカムの歴史と協同運動

山森 亮

## ■残しておきたい協同のことば (追補版 4)

ロバート・オウエン

鈴木 岳

## ■本誌特集を読んで (2021・6)

豊福裕二

## ■新刊紹介

駒村康平編著『みんなの金融

—良い人生と善い社会のための金融論』 青山雅恵

『未来へのバトン パルシステム東京 50 年のあゆみ』

三浦一浩

『“おたがいさま市民” の生協像』

鈴木 岳

## ■研究所日誌

## ●2021 年度開催公開研究会

・健康でありたいという願いによりそって (8/27)

・『(第 3 期) 生協論レビュー研究会』から (10/1)

●第 30 回全国研究集会 (11 月 2 日)

## 文化連情報 2021.8 No. 521

## 菅内閣の「骨太方針 2021」の社会保障・医療改革方針を複眼的に読む

日本文化厚生農業協同組合連合会 2021 年 8 月 B5 判 104 頁 文化連情報編集部 03-3370-2529 \* 注

## 農協組合長インタビュー (74)

農家を含めた組織力で産地を蘇らせる 数又清市

## 史上初の「中間年改定」が

医薬品市場に与えた影響と共同購入 山本 卯

第 94 回関東福島厚生連医療材料共同購入委員会

第 6 回西日本地区厚生連医療材料共同購入委員会開催

業務推進部

相模原協同病院 新病院開院から半年を迎えて

高野靖悟

## 特別セッション

「コロナ対応と今後の課題」で茨城、兵庫から実践報告

池上弘人

タブロイド版 『会員貢献と自己改革』第 4 号を発行

二木教授の医療時評 (193)

菅内閣の「骨太方針 2021」の

社会保障・医療改革方針を複眼的に読む 二木 立

規制改革推進会議の 2021 年答申 (農業 WG) を読む

田代洋一

新型コロナ禍における失業者と生活保護受給者

石川 満

徹底解説! みんなで学ぶ農協福祉事業 WEB 道場実況中継②

在宅復帰機能強化めざす、介護老人保健施設の運営戦略

鈴木佑理

会員の挑戦 コロナに打ち克つ

JA 熊本厚生連

新宿農協会館で、国際協同組合デーのポスターキャンペーン

第 99 回国際協同組合デー記念中央集会在開催されました

池上弘人

農のある暮らしから水害と治水を捉えなおす (4)

「流域治水」への転換は本物か?

川妻干将

アメリカの医療政策動向 (13)

アメリカ雇用計画の行方と ACA 法違憲訴訟の顛末

高山一夫

変わる日本のまちづくり (14)

仙台市郊外住宅地のまちづくり

—NPO 法人地域生活支援オレンジねっと—

杉岡直人・島山明子

## ドイツの対 COVID-19 戦略

デルタ株拡大下でのサッカー欧州選手権 吉田恵子

多様な福祉レジームと海外人材 (39)

コロナ禍における介護人材

安里和晃

臨床倫理メディエーション (54)

日本の予防接種政策におけるリスクと責任 (4)

—ワクチンによる健康被害と有害事象 中西淑美

アフガニスタンから見た世界と日本 (15)

国際舞台、オリンピックで難民選手団の活躍に

期待と応援 レシャード カレド

デンマーク &amp; 世界の地域居住 (146)

オランダにおける組織形態「財団 (Stichting)」

杉岡洋子

熱帯の自然誌 (65) 先人の足跡を辿る

安間繁樹

▼線路は続く (154) 秦野と二宮を結んだ軽便鉄道/西出健史

▼最近見た映画プロミシング・ヤング・ウーマン/菅原育子

▼虹のかけ橋 —新宿農協だより—

地域・協同の運動、協同組合に関する文献資料、協同組合・生協関係の研究所などの調査研究成果や研究センター会員の研究成果などから、比較的入手しやすいと思われるもの、寄贈いただいたもの(♣)などを中心に順不同で紹介しています (主な内容は目次等から事務局が要約しています)。詳細は研究センター事務局までお問い合わせください。

## 書籍紹介

公益財団法人 生協総合研究所からご紹介



## 「生協共済の未来へのチャレンジ」

生協総合研究所 生協共済研究会 編

出版：株式会社東信堂 発行日：2021年7月20日

定価：2,300円＋税 A5版 229ページ

生協共済研究会は共済における生協らしさをテーマに、こくみん共済 coop（全労済）、全労済協会、コープ共済連、大学生協共済連を事務局に2006年4月から開始した研究会です。本書はこの生協共済研究会の3冊目の著作で、多くの研究会委員の方にご執筆いただいています。

「生協共済のアイデンティティ」「生協共済の事業運営」「新たな課題へのチャレンジ」の各テーマについて積極的な提案と問題提起を行うとともに、生協共済の到達点や共済事業を読み解く「時代認識」を明らかにし、生協共済の特色や保険との違いについて具体的な取り組みを基に考察をしています。

(公益財団法人 生協総合研究所ホームページより)

## 主要目次

## はじめに

## ●第1部 生協共済——アイデンティティ

第1章 共済と保険の相違（米山高生）

第2章 生協共済の組織的特質、制度的枠組みとアイデンティティ（栗本昭）

## ●第2部 生協共済の事業運営

第1章 生協共済の事業デザイン（岡田太）

第2章 生協のリスク区分（宮地朋果）

第3章 自然災害に対する共済団体の取り組みと残されている課題（吉田郎）

第4章 生協共済の財務健全性の確保（大塚忠義）

## ●第3部 新たな課題へのチャレンジ

第1章 人生100年時代の新たな生活リスクに立ち向かう（小塚和行）

第2章 人生100年時代のライフプランニング活動・生活保障設計運動（藤川太）

第3章 インシュアテックと共済事業（催恒碩）

第4章 マイクロインシュアランス普及の現状と課題（根本篤司）

第5章 国際協同組合保険連合（ICMF）と同連合アジア・オセアニア協会（ADA）の活動とその展開（高橋成人）

## おわりに／執筆者紹介

## 地域と協同の研究センター9月の予定

4日（土） 友愛・協同セミナー

10日（金） 第6回組合員理事ゼミナール

11日（土） 第2回東海交流フォーラム実行委員会・理事懇談会  
公開セミナー「南海トラフ・自然災害にどう備えるか」

17日（金） 第4回協同の未来塾

23日（木） 金城学院大学「協同組合論①」

25日（土） 第3回共同購入事業マイスターコース

30日（木） 金城学院大学「協同組合論②」

※企画は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止・延期・オンライン参加のみとなることがあります。

ご参加の前にホームページ等でご確認ください。

地域と協同の研究センターNEWS 第204号

発行日 2021年8月25日 定価 200円（税・送料込み）

年会費には購読料が含まれています

発行 特定非営利活動法人 地域と協同の研究センター 代表理事 鈴木 稔彦

〒464-0824 名古屋市千種区稲舟通1-39 TEL 052-781-8280 FAX 052-781-8315

E-mail [AEL03416@nifty.com](mailto:AEL03416@nifty.com) HP <http://www.tiiki-kyodo.net/>